

行政懇談会の結果報告について

第2回行政懇談会を6月24日から順次下記の日程で開催しました。

6月24日 竹地区	6月26日 栗松地区	6月27日 岩屋地区
7月1日 板屋地区	7月2日 中原地区	7月3日 大行司地区
7月9日 西福井地区	7月10日 上福井地区	7月11日 東福井地区
7月16日 小石原中央区	7月17日 小石原南区	7月18日 小石原北区
7月22日 鼓北区	7月23日 鼓南区	

行政懇談会で村民の皆様から出された、意見、ご質問とそれに対する村の回答をまとめてみました。右のページの表は、それらの意見・質問を内容ごとに分類し、その回数を棒グラフにしたものです。多い順から代表的な意見をご紹介します。

【見方】

- (問)・・・住民の方からの質問
- (答)・・・質問に対する村の回答
- (現)・・・現在までの取組み及び状況等

<第三セクター>

問. ㈱宝珠山ふるさと村に99.7%を村が出資しているが、これは住民が出資していることと同じと考えます。住民は会社の総会資料など見たことがありません。総会内容について住民に知らせるべきではないでしょうか。

答. 村が2億3500万円を出資した会社です。合併前に旧村の基金を住民に還元できる方法はないか協議して出資しました。合併すれば旧村の産業・施設が今後衰退してしまうのではないかとこの事で(株)宝珠山ふるさと村を設立したところです。旧村で人口割をすれば一人当たり14万円ぐらいの出資ということですが、当時の村が出資して株主となり、私(村長)が代表して旧村から役員になっています。会社法上では、村が出資者で住民すべてが出資しているということではありません。また、総会内容の報告は住民の代表である議員の皆様へ毎年9月議会で報告を行っております。

問. 出資金は引き揚げるのか。

答. 新たな株主総会がありますので、その中で協議していきます。また、過大な資本金を持って運営していくのはどうかと言われていますが、これは、旧村の基金があり、今ある施設を運営して行く為には、

ある程度の資金を投入しておくべきとの結論からこのような投資になっています。この資本金が必要かどうかは議論する必要があります。引き揚げる場合は、旧村の振興に資する資金として基金にするなどの検討が必要と考えます。

<いぶき館>

問. 赤字経営が続けば村の税金を投入しないといけないのではないかと。

答. 運営できなければ直営、直営できなければ民間に再委託をするなどの考え方をしていかなければならない。村からの指定管理者として受託事業をしています。今後は収益事業に取り組み、健全経営を目指し取り組んでいきたいと思っております。村内外を問わず民間委託を考え、それが出来ないときは閉鎖を考えなければならぬと思っております。

問. いぶき館でレストランができないのは、最初から判らなかつたのか。視察にも行ったが？

答. 当初はレストランではなく、軽食を提供する予定でした。あくまで歴史資料館としての「いぶき館」であり、視察に行ったところがレストランも経営していたということで、兼ねて視察を行いました。レストランの視察に行ったわけではありません。

問. レストラン経営はできないし、飯塚の伊藤伝右衛門邸を見てこちらに来る観光ルートの入場料だけしか収入がないと思われまふ。今後、交流の場として活用すると言われまふが、どのような方向付けでやっていくのですか。

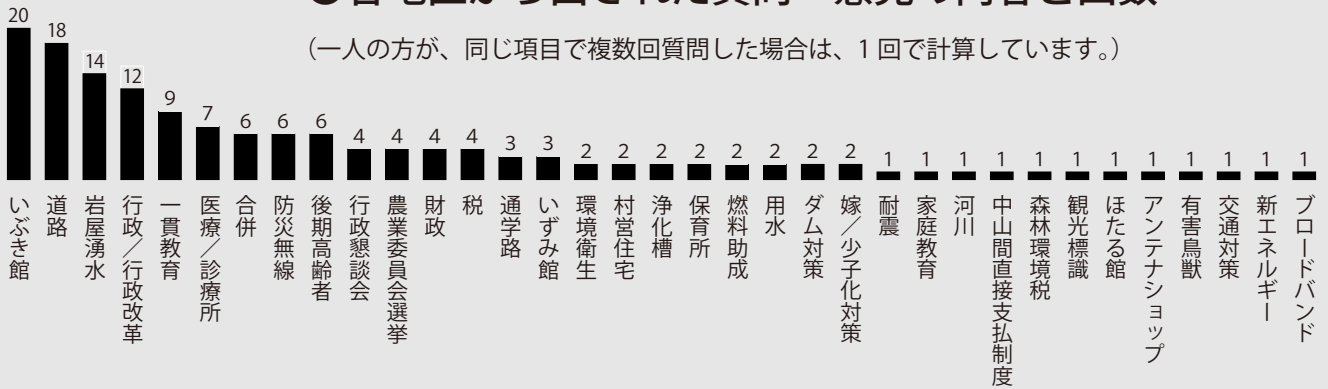
答. ㈱ふるさと村には13の営業項目があります。特産品の開発などありますが、そのうち村からの受託管理が5件です。その一つが「いぶき館」です。宝珠山の炭鉱、棚田の歴史を村外にPRし東峰村に来た人たちを岩屋神社や棚田などに案内するビジターセンター的役割を果たすのが「いぶき館」であり、その中でレストラン(軽食)を経営して収益を上げる予定でしたが、できなくなったところです。今は高倉健展を開催していますが、このような企画展等を開催しながら、いぶき館から情報発信を行っていきたく思っています。

<第三セクター>

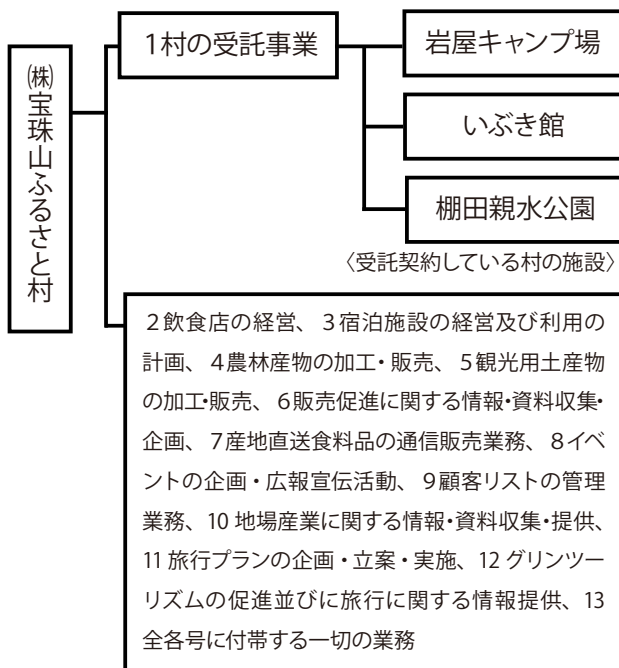
現. ㈱宝珠山ふるさと村では、13項目の事業を行うことを目的としています。その内「いぶき館」などの公共施設の運営は「村の受託事業」になります。現状では主に受託事業に取り組んでいますが、事業収益を上げるため、今後は他の事業項目に力点を置き健全経営を目指します。そのため社員の追加募集も行い、新たな会社の体制づくりを現在進めています。

●各地区から出された質問・意見の内容と回数

(一人の方が、同じ項目で複数回質問した場合は、1回で計算しています。)



【(株)宝珠山ふるさと村の13項目の事業】



<道路>

道路については、交通安全対策や維持管理についての意見が最も多く、側溝蓋の補修や歩道の設置、道路の除草、改良計画等の質問が出されました。これに対し村からは、県が管理する部分については県に連絡し、村が管理する部分については、優先順位を決め予算の範囲内で実施することを回答しました。次に多かったのが、国道、県道についての質問です。

問. 県道八女・香春線の今後の改良はどうなっているのか。

答. 総勢50名で国県道期成会を創り会議を行っています。昨年の11月15日に土木事務所に八女香春線改良延長及び国道昇格の要望を行っています。現. 年内に朝倉土木事務所に要望を行う予定にしています。

問. 国道211号の改修計画は具体的なものはあるのか。東地区は道幅が狭く段差が激しい所もあり10年前から要望していたが改修を行っていただけでない。

答. 国・県道については、路線ごとに期成会があり

その中で協議し要望活動を行っています。また、年次ごとに朝倉土木事務所へ具体的箇所を示し要望も行っていきます。緊急な要望が地区から出された時は、村長名で進達し要望活動を行っているところです。先ほど言われた箇所については、後ほどお聞きして対処したいと思います。

現. 8月に朝倉土木事務所に県単独費用による事業実施の要望を行いました。

<岩屋湧水>

問. 湧水販売機を設置すると広報誌に載っていたが？

答. 19年度に検討委員会を設置し協議いただいた結果、「有料化の方向で行く」という答申をいただきました。本年度も検討委員会を立ち上げて検討協議を行います。

現. 委員選考を7月に行い、8月上旬に第1回目の検討委員会を開催しました。今後も継続して検討委員会で協議する予定です。

問. 岩屋の水が平成の名水百選に選ばれたが、どういう規制があるのか。また今後、どうしていくのか。地元は迷惑している。なんらかの取り決めがあるのでは？

答. 選ばれたからといってなんら規制はありません。更に利用していくためにはJRとの協議、水の問題等いくつか解決しなければいけません。先般より有料化する手立てとして、いろいろな協議がなされています。決まったら皆さんにお知らせします。また、水汲み場付近は、道路改良工事の最中で、車はどんどんくるは、マナーは悪いは、ということで、岩屋地区の皆様には大変御迷惑をおかけしているところです。今まで2地区を回ったところマナーの悪さ等いろいろご指摘を受けています。今後事業化するための委員会を立ち上げていますので、岩屋地域のみなさんにも入ってもらい、企画の方で再度検討し経済振興のため努力していきたいと考えています。

<行政>

問. 地区担当職員の役割とは？また、最初の区長会で知らせるべきでは？

答. 明示しておりませんが地域とのパイプ役として配置しています。具体的にはボランティア活動への参加、陳情等の文案の作成を考えています。先進事例を参考に役割等を明確にし、区長会にも報告したいと思います。

問. 連絡員をしています。何度か役場に行きましたが非常に不愉快な思いをした。どういう接遇指導をしているのか。

答. 市町村研修所で定期的な職員研修を実施しておりますが、役場内での接遇研修は合併前に何度か行っただけですので、今後具体的に研修を行いたいと考えています。

現. 月例の朝礼で職員全員に毎回接遇について注意を促しています。また、12月に接遇研修を実施する予定です。

問. 行革推進室の進め方は？

答. 行政改革推進委員を各課から選出して、月1回程度会議を行っています。例えば、「庁舎統合等の問題になりましたら住民を入れてのしくみを作っていかなければならない。そうするためにはどうすればいいか」や「歳出費削減のためにどのようなことに取り組んでゆくののか」など本卒の取り組みを職員が検討しています。

現. 本年度に行政評価制度の試行導入を現在検討しています。(事業の費用「予算」に見合う効果があるか否かを指標等を用いて評価し、次の計画に反映させるものです。)

<小中一貫>

問. 小中一貫校、現実的に見て、保育所2、小学校2、中学校1と現在、ばらばらの学校をどのようにするのか？村の合併当時、学校は残すという事でしたが、合併してもう3年になりますので統合のことも考えていいのではないのでしょうか？

答. 本年度、審議する中で統合する事も意見として考えて行きます。平成20年度中に方向性をだしたいと思います。

現. 各部会を定期的に開催し協議を行っています。

問. 宝珠山小学校の生徒数ですが、複式にはならないのですか。

答. 1.2年は8人で、2年以上17人いれば複式にはなりません。今年は減変緩和措置で教諭7人で担任は確保しています。何年か後は2つ以上のクラスで複式になると思いますので、学校のあり方を検討していく必要があります。今のところ複式にはしません。小学校を統合したらという話もでています。中学校を小中学校にしたらという意見もありますの

で、審議会で検討したいと思います。

<医療>

問. 病院のことでアンケート調査を行ったが、どのようになっているのか。

答. 昨年度、医療検討委員会を設置して、いろいろと検討を重ねてきました。今年3月にとりまとめ、村長に委員会からの答申がなされているところです。それを受け医師を招聘するのがいいのか、別の方法があるのか、いろいろな方法を検討しているところです。また医院の建物(旧宝珠山診療所)は小池先生の所有物です。その建物を取得した場合の活用方法も検討しています。いろいろな方向性が考えられるので、どういう方向性がいいのか情報を集めて、方向性を決めてから、具体的な行動に移れるたらと考えています。

問. 医療問題・診療所の現状の問題を教えてください。

答. 今年の3月医療対策検討委員会から答申を受けています。医療については、いずみ館のバスを利用して小石原診療所に行ってもらえばいいという意見等もあります。宝珠山診療所は建物が大きいのでなかなか見つからない状況。医師等の紹介もいただいたが実現に至ってない状況です。

<合併>

問. 合併しない村づくりをどのように行っていくのか。

答. 行革推進室を設け事務事業の見直し経費削減に取り組んでおり、各種団体の補助金等についても削減を行っています。また、「自分たちで出来ることは自分たちで」を実行し役場内の清掃や周辺の草刈等も行っています。小石原庁舎では、全課を1階に集め外気が入らないようにビニールでカーテンを張るなどして暖冷房費の削減に努めています。産業(商工、農政)の育成を行い収益が上がるように施策を実施しています。また、ITによる村づくりとして世界各地に情報を発信し、物品の販売等が出来る環境整備を行っています。合併しない村づくりのため職員にはその意識を持ちながら行政運営にあたるよう指示しております。

<防災無線>

問. 先月の後半に大雨が降ったが、その際テレビや防災メールでは警報等の情報が配信されたが、防災無線ではどのように対応したのか。

答. 災害対策マニュアルによって、警報発令時は第1配備として課長を含め職員4名体制で各庁舎に待機しています。防災無線による放送は警報発令時刻等を検討し、課長の判断で行っていましたが、放送マニュアルに基づき行うようにしました。

＜後期高齢者＞

問. 後期高齢者医療の該当者は？保険料の天引き等に対する村民の反応はどうか。

答. 該当者 611 名（75 歳以上）。4 月から偶数月に国保から後期高齢者になった人は天引きが始まっています。社会保険から後期高齢者になった人は 10 月から天引きが始まります。天引きではなく納付書で納める人もいます。制度に対する反応はまだあまりありません。住民税が課税されていない方（低所得者）は当初、7 割軽減でしたが、20 年度に限り、8・5 割軽減され来年度は 9 割軽減になります。天引きがいやな方は届ければ口座払いも選択できます。

＜農業委員選挙＞

問. 農業委員会の選挙では期日前投票所が宝珠山庁舎 1 箇所だったのはなぜか。

答. 今回の農業委員選挙は旧村の時代を含め初めての選挙でした。理由としては、期日前投票所の選挙事務従事者の中には農業委員選挙の選挙権を有することが必要な役職等もあり職員数が不足したことです。一般選挙と比較した場合、有権者数が約 1/3（約 700 名）であること。財政難による経費の削減等を考慮し 1 箇所としたところです。今後は候補者の掲示のあり方などについても、選挙管理委員会で検討を進めて参ります。

現. 期日前投票や投票区等について、選挙管理委員会で継続協議を行っています。

＜財政＞

問. 配布された「わかりやすい今年の予算」の中で、40 数億円借金（公債費）があったが、その返済方法について教えてもらいたい。また、経常収支比率はどのようになっているのか。

答. 必要なもの以外のハード的な事業を出来るだけ抑制する。また、人件費の予算に占める割合が高いため、職員の早期退職勧奨により職員数を削減し給与総額を抑制する方法や、給与を一定の額まで引き下げ職員数を確保していく方法等を検討し削減していきます。借金でもその中身が重要で、その中には交付税措置されるものもあり、平成 20 年をピークに減っていくものと考えております。経常収支比率は近年改善の方向にあります。

現. 職員の早期退職勧奨を実施しました。

＜税＞

問. ふるさと納税に取り組むのか。

答. 取り組みます。公共施設等に周知ポスターを掲示したり、村の HP にも掲載し幅広く呼びかけを行っています。

現. リーフレットを 2,000 部作成中。近々全戸配布及びアンテナショップに配置し広く協力を呼びかける予定です。

問. 税の滞納状況と滞納者への対応は？

答. 滞納者数は即答できませんが、税の収納率は 96% を超えています。また、滞納者へは徴収委員会を 4 班に分けて戸別訪問等による徴収を行っています。

＜通学路＞

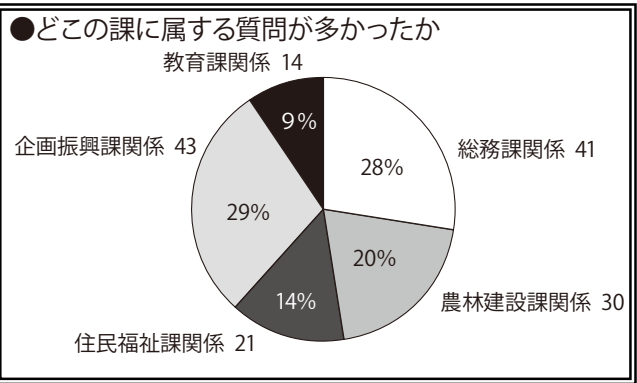
問. 国道 2 1 1 号（大行司から日田方面）はセンターラインが消されました。これによる効果があれば取り入れてもらいたい。葛生・屋敷だけでもスクールバスをまわすことはできないのか。

答. スクールバスはスクールバス検討委員会で決定するので、要望すれば出来ない事はないと思います。スクールバス・いずみ館バスの一本化について今後、検討していきます。センターラインをとって、歩道の幅を確保していることについては、効果を見て今後いかしていきたいと考えています。

＜燃料助成＞

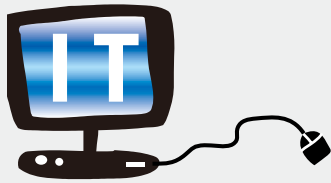
問. 最近物価上昇により、灯油等は倍近く高騰しています。農家の多くは米乾燥に灯油を使用しています。また、村内にも 4 軒ほど乾燥を請負っている方もいらっしゃいます。生産経費は上がるが、米の値段は上がりません。農家の経費負担の増加につながるため、村として燃料費の補助等は考えていないのか。

答. 先般から筑前あさくら農協本店前で農政連関係の総決起集会に行つて参りました。町村会等でも国に要望していきたいと思つています。国や県が補助を実施しない場合は、村単独でも補助を考えなければならないと思つています。それには農協との協議・検討が必要かと思つていますので、この場での即答はできませんが前向きに考えていかなければならないと思つています。



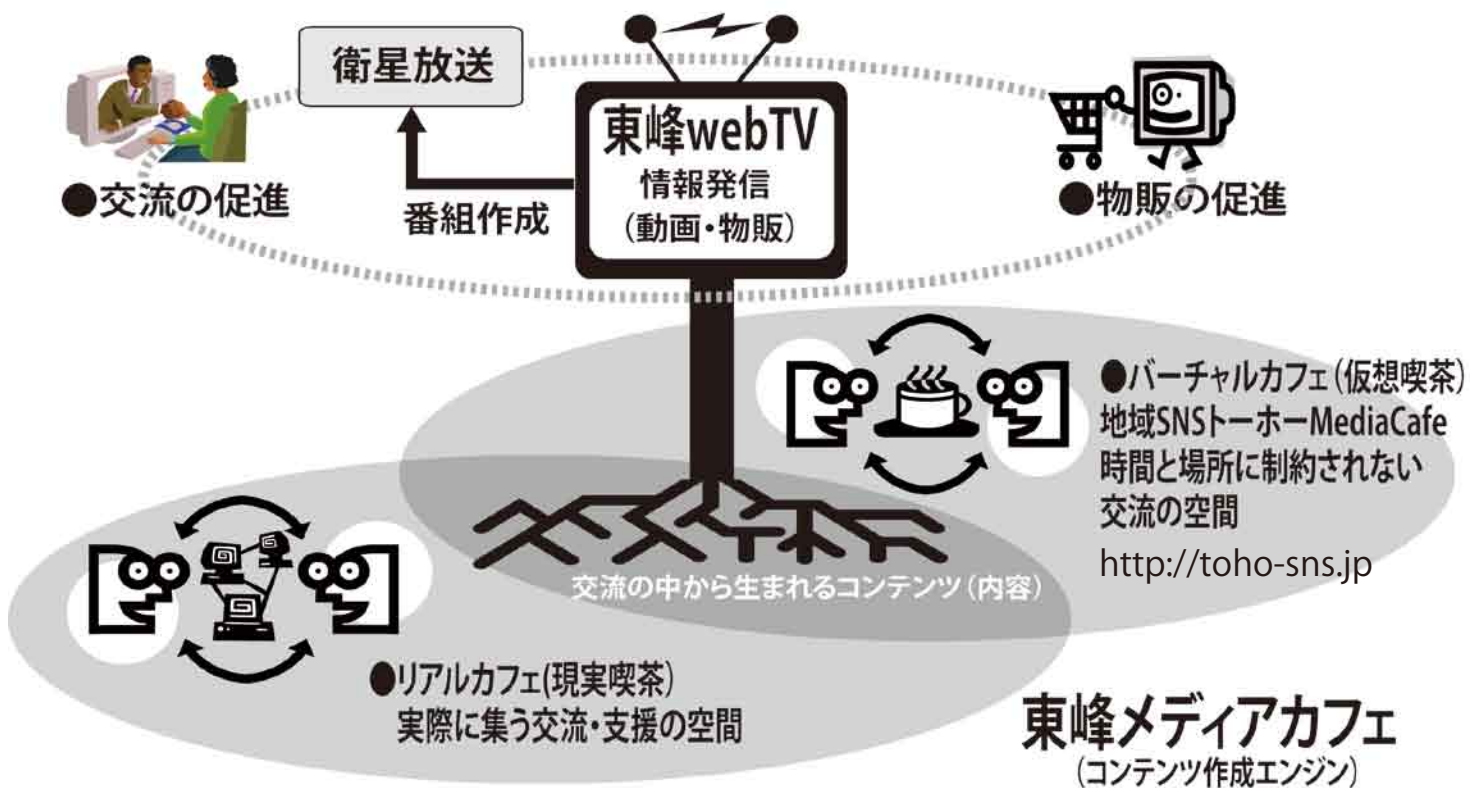
ご意見、ご質問を一部ご紹介しました。両庁舎（宝珠山庁舎：総務課、小石原庁舎：企画振興課）で行政懇談会の意見集約版の閲覧ができます。 総務課

こちら IT 推進室です！



先月は東峰村の地域 SNS について特集を組みましたが、今回は、もっと大きな図式の中で、これまで行ってきた取り組みの概略をお知らせしたいと思います。まず村では、平成 18 年度から始まったこの IT による地域の活性化の取り組み（東峰そんみん塾、住民ディレクター、鳳雛塾）の支援、継続ができるような仕組みを作ろうとしています。これを「東峰メディアカフェ」という名称で呼んでいます。東峰メディアカフェには、実際に集まってパソコンやインターネットができる場所（仮の名称としてリアルカフェ）と時間と場所に制限されない交流と情報発信の場所（仮の名称としてバーチャルカフェ）を Web サイト上（地域 SNS ここが先月号で紹介したトーホー MediaCafe）に作っています。これらの仕組みによって地域内のコミュニティの活性化を図るとともに東峰村に関する地域情報を発信し続けることで、交流を活性化し、ひいては地域全体の活性化につながるよう事業の推進にあたっているところです。

東峰村 IT による活性化のイメージ



▲これまでに作られた本です。

■ サイラス・ロルビン先生からのおたより

昨年度、英語ビデオキャンプの指導をしていただいた、サイラス先生から東峰村のみなさんにお便りがありました。サイラス先生は慶応大学を退職し現在ボストン大学の関係の仕事をされています。今回、新たなプロジェクトの提案がありましたので皆様に紹介いたします。以下先生からのお便り（原文）です。



●東峰村の若い人、村を紹介する本の作成に参加しませんか？

2007年8月4-5日に「英語ビデオキャンプ in 東峰村」の担当教師サイラス・ロルビンが担当する新しいプロジェクトです。



宝珠山中継局(土師山)地デジ放送開始!

11月10日からの開局を控え地上波デジタル放送の試験放送が10月15日から東峰村でも開始されています。ご存知のとおりアナログ放送は2011年7月24日をもって放送が終了し、すべてデジタル放送に切り替わります。今回試験放送が開始されましたので、下記の地図に該当する住民の方は、受信することが可能になりました。受信するためには、対応のテレビかデジタル放送用のチューナーが必要です。また今回、受信できない地域は、2011年までに各共聴組合での対応が必要になってきます。詳しいことは ●九州総合通信局 放送課 TEL 096-326-7882 ●総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター TEL 0570-07-0101 まで

<宝珠山デジタル中継局のリモコン番号、チャンネル、放送エリア>

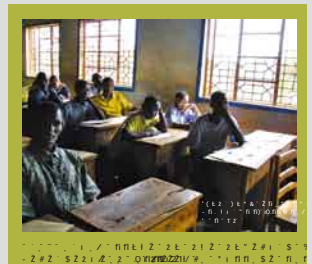


※九州総合通信局のホームページより抜粋(自治体名が合併前の表記になっていますご注意ください。)

「What Kids Can Do」という、アメリカの非営利組織が若い人中心に世界の色々な村を紹介する本のシリーズを出していて、今度東峰村の本もそのシリーズに入ります。

○面白そうだけど、どうすればよい?

- 文章 これらのトピックについて一枚(400字原稿用紙)ぐらいつつ書きます。
 - 東峰村での一番好きな場所・物・イベント・季節・人間など。
 - 東峰村に対する、気になること・心配すること。
- 写真 書いた文章と合う写真を10枚ぐらい取ります。
文章を英語に翻訳しますので、文法とかを気にしないで、自分の考え、気持ちが素直に伝わるような文章を書いてくれれば一番良いです!



参加対象者は東峰村に住む小中学生なら誰でもOKで、もちろん参加料などは一切かかりません。東峰村を題材に作られるこの本は世界中に配布されるそうです。村にとってもPR効果が大きいと判断しIT推進室で文章と写真のとりまとめをしたいと思っています。11月28日締め切りです。興味のある方はIT推進室(72-2311)までご連絡ください。

学び舎創生事業（通学合宿）

公 民 館



10月4日（土）から10日（金）にかけての6泊7日、喜楽来館において平成20年度後期通学合宿が行われました。後期は宝珠山・小石原両小学校の4、5、6年生から38名の児童が参加し、1週間親元を離れ、集団生活をしながら学校に通いました。

1日目は4年生が初参加ということもあり、班での活動も緊張気味でしたが、アイスブレイキングを行ううちに少しずつ打ち

解けていたようです。また夜ごはんには東峰村青年団の協力で、焼き肉、焼きそばが登場し、まるでお祭りに来たみたいと大盛況でした。

2日目は岩屋公園近辺でウォークラリーを行いました。雨が心配される空模様でしたが、無事に全チームゴールすることができました。この活動で、班で協力することの大切さが分かってきたようです。

3日目は月曜日ということで学校も始まりました。大勢での登下校も楽しみの一つ。いつもと違う通学路で、子どもたちはアケビを発見していました。また、月曜から水曜までは東峰中学校の1、2年生数名にもヤングサポーターとして来てもらい、宿題も決められた時間にしていました。

今回は身の回りの整理整頓に力を入れて、特に布団の上げ下ろしや掃除区域の清掃の指導を徹底しました。最初は何度もやり直しをしていた子どもたちも、後半になると自分で考えて、言われなくてもしっかりとできるようになっていました。今回の通学合宿を通して、子どもたちの心に「大変だったけど、1週間協力してやり遂げることが出来た!」という自信が身についてくれればと思います。



▲2日目、班で協力したウォーキング



▲牛乳パックを使ったリサイクルはがき作り



▲みんな竹馬乗れるようになったかな?



▲海老井副知事も地域ふれあい体験を視察



▲みんなで揃っての登下校も楽しみの一つ



▲白熱した班対抗でのドッチビー!



▲どの班も力作揃いのリクエストメニュー!



▲最後の報告会も協力してやり遂げました!



▲みんな1週間よく頑張ったね!

平成20年度 第3回子ども文化祭

10月17日（金）東峰中学校体育館において、～つたえあおう自分のきもち～のスローガンのもとで「平成20年度 第3回東峰村子ども文化祭」が行われました。開会行事では東峰中学校 西見校長のトランペット演奏に合わせ、園児・児童・生徒・会場の保護者等全員で「ふるさと」を歌いました。ステージ発表では今年初めての試みで、小石原保育園と美星保育所合同の「手話ソング ハッピーチルドレン、合奏 白くまのジェンカ」、小石原小学校の「表現～祝うたア～、全校合奏 ふるさと小石原」、宝珠山小学校の「表現 宝の山宝珠山～棚田のめぐみ～、全校合唱 歌がいっぱい、この星に生まれて」東峰中学校の「学年合唱、全校合唱」を、また体育館一杯に飾られた展示物を披露しました。短い時間ではありましたが、楽しいひとときを過ごすことができた子ども文化祭でした。

ひ
ろ
ば



▲西見中学校長トランペットに合わせてみんなで合唱



▲小石原保育園、美星保育所合同の手話ソング



▲体全体を使った小石原小学校の表現「祝うたア」



▲棚田のめぐみを表した 宝珠山小学校の表現



▲東峰中学校 1年生



▲東峰中学校 2年生



▲東峰中学校 3年生



宝珠山公民館・小石原公民館からのお知らせ

◆県立図書入れ替えについて

11月10日（月）に県立図書の本の入れ替えがあります。県の本を借りている方は、整理の都合上、**11月5日（水）**までに返却をしていただきますようにお願いします。

◆図書室所蔵雑誌の配布について

宝珠山公民館図書室所蔵の平成19年12月以前発行分の月刊誌・週刊誌「九州ウォーカー」「レタスクラブ」「Commo」「オーシャンズ」等、小石原公民館所蔵の「今日の料理」「趣味の園芸」「おしゃれ工房」、廃棄分の一般書、児童書をご希望の方に配布します。受付期間は各公民館で、11月末日までです。ぜひ御利用ください。